

# 源平の時代を視る

—二松學舎大学附属図書館所蔵の奈良絵本『保元物語』『平治物語』を中心に—

## 第2回公開ワークショップ

この共同研究プロジェクトは、磯水絵、小井土守敏、小山聡子の三人が進めている。本プロジェクトでは、現在まで広く公開されてこなかった二松學舎大学附属図書館所蔵の奈良絵本『保元物語』『平治物語』の紹介をし、歴史的にどのような位置づけができる作品であるかの解明をすることを目的としている。

2013年

2月23日(土)

二松學舎大学九段校舎1号館201教室



午後1時 受付開始

午後1時30分

開会の辞 佐藤 進 (二松學舎大学文学部教授)

午後1時40分～午後2時40分

講演: 出口 久徳

(立教新座中学校高等学校教諭・立教大学兼任講師)

「二松學舎大学蔵  
『保元物語 平治物語』の挿絵をめぐる」

午後2時40分～午後3時40分

講演: 小森 正明

(宮内庁書陵部図書調査官・二松學舎大学非常勤講師)

「二松學舎大学所蔵『保元物語』  
『平治物語』にみえる建物等について」

休憩時間 20分

午後4時00分～午後5時00分

講演: 麻原 美子

(日本女子大学名誉教授・元聖徳大学教授)

「『愚管抄』と『保元物語』『平治物語』を  
めぐって」

午後5時 閉会の辞 磯 水絵 (二松學舎大学文学部教授)

### 奈良絵本の展示

1月28日(月)～2月28日(木)に、二松學舎大学附属図書館所蔵の奈良絵本『保元物語』『平治物語』の展示を、本学九段校舎2号館1階の資料展示室で行ないますので、ご高覧ください(但し、日曜・祝日・2月1日・2日・14日は閉館。開館時間は午前10時から午後4時まで)。

※事前のお申し込みは不要です。奮ってご参加下さい。 ※裏面に講演者のプロフィール、会場案内図があります。



二松學舎大学

問い合わせ先: 二松學舎大学東アジア学術総合研究所

〒102-8336 東京都千代田区三番町6-16 Tel: 03-3261-1354 Fax: 03-3261-1368

# 源平の時代を視る

—二松學舎大学附属図書館所蔵の奈良絵本『保元物語』『平治物語』を中心に—

## 第2回公開ワークショップ

### ■出口 久徳 (立教新座中学校高等学校教諭・立教大学兼任講師)

立教大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。博士(文学)(立教大学)。

専門は、中世軍記と絵画の研究。

主な著書および論文に、『図説 平家物語(ふくろうの本)』(河出書房新社、2004年)、『平家物語を知る事典』(東京堂

出版、2005年)、『源平合戦図屏風の世界——の谷・屋島合戦図屏風を中心に——』(河合康編『歴史と古典 平家物語を読む』吉川弘文館、2009年)、『項目執筆』『絵画』(大津雄一他編『平家物語大事典』東京書籍、2010年)などがある。

### ■小森 正明 (宮内庁書陵部図書調査官・二松學舎大学文学部非常勤講師)

筑波大学大学院修士課程教育研究科修了。博士(文学)(筑波大学)。

専門は、室町期の公家社会や東国社会の研究。

主な著書および編著に、『史料纂集 葉黄記 第二』(続群書

類従完成会、2004年)、『室町期東国社会と寺社造営』(思文閣出版、2008年)、『史料纂集 教言卿記 第四』(八木書店、2009年)などがある。

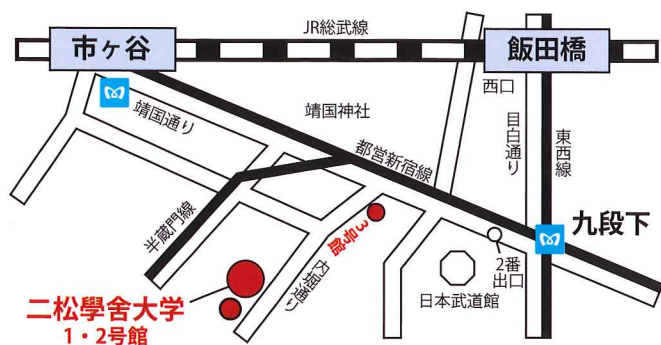
### ■麻原 美子 (日本女子大学名誉教授・元聖徳大学教授)

東京教育大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学。文学博士(筑波大学)。

専門は、中世軍記と語り物の研究。

主な著書および編著に、『幸若舞曲考』(新典社、1980年)、『屋代本・高野本対照平家物語』1・2・3(新典社、1990年～

1993年)、『新日本古典文学大系59 舞の本』(岩波書店、1994年)、『日本の文学とことば』(東京堂出版、1998年)、『長門本平家物語の総合研究』1～3(勉誠出版、1998年～2000年)、『平家物語長門本延慶本対照本文』上中下(勉誠出版、2011年)などがある。



※会場には駐車場がありません。お車でのご来場はご遠慮ください。

○JR「市ヶ谷」「飯田橋」駅下車、徒歩15分

○地下鉄 東西線・半蔵門線・新宿線「九段下」駅下車、2番出口より徒歩8分



## 二松學舎大学

問い合わせ先: 二松學舎大学東アジア学術総合研究所

〒102-8336 東京都千代田区三番町6-16

Tel: 03-3261-1354 Fax: 03-3261-1368